

# 『教育学研究論集』

## 編集規定・投稿要領・執筆要領

平成 18 年 3 月 1 日  
編集委員会決定  
改正 平成 27 年 7 月 11 日  
改正 令和元年 6 月 19 日  
改正 令和 2 年 12 月 23 日  
改正 令和 4 年 3 月 31 日  
改正 令和 5 年 5 月 31 日  
改正 令和 7 年 4 月 11 日

### 【編集規定】

#### 1. (目的)

本誌は『教育学研究論集』と称し、武庫川女子大学教育学部教育学科及び大学院文学研究科教育学専攻の研究紀要として発行される。

#### 2. (編集委員会)

(1) 本誌の編集に関する事項の審議は、武庫川女子大学教育学部教育学科及び大学院文学研究科教育学専攻担当の専任教員で構成された編集委員会が行う。

(2) 編集委員長・副編集委員長は編集委員のなかで互選する。

#### 3. (審査)

投稿原稿については、編集委員会において選任された査読委員(学外の査読者を含む)による審査を経て、編集委員会が掲載可否を決定する。

#### 4. (投稿資格)

本誌に投稿できる者は教育学部教育学科及び教育学専攻の担当教員(非常勤講師を含む)、教育学専攻の大学院生・修了生、臨床教育学研究科博士後期課程(教育学分野)の大学院生・満期退学者・修了生、及び当編集委員会の承認を得た者とする。共同執筆者の場合も同様とする。

#### 5. (著作権)

掲載原稿のすべてについて、著作者人格権(公表権、氏名表示権、同一性保持権)以外の著作権は、武庫川女子大学に委譲されたものとする。

#### 6. (改正)

本規定の改正は編集委員会で決議される。

### 【投稿要領】

#### 1. 投稿申込にあたっては原稿区分を明記すること。

区分は以下のとおりとする。ただし、原著論文および研究ノートに関しては、編集委員会により執筆区分の変更を求めることがある。

(1) 原著論文(査読付き論文)

(2) 研究ノート

(3) 院生研究ノート

(4) 教育・保育実践ノート

(5) 資料解題

(6) 翻訳

(7) 図書紹介

(8) その他、編集委員会が必要と認めたもの

2. 投稿原稿は、和文又は英文によるものとする。いずれの場合でも、原稿枚数はレイアウトされた原稿の頁数で換算することとし、表題、本文(図版含む)、注、参考文献なども含めて、原著論文 10 頁以内、研究ノート 10 頁以内、院生研究ノート 10 頁以内、教育・保育実践ノート 10 頁以内、資料解題 10 頁以内、翻訳 10 頁以内、図書紹介 4 頁以内とする。

3. 投稿論文の数に関して、原著論文は一人 2 論文以内とする。ただし単著の場合は 1 論文までとし、連名による論文に限って、さらに 1 論文提出することができる。

4. 投稿論文に利用したデータや事例などについて、研究倫理上必要な手続きを経ていることを注または末尾に、もしくは「研究方法」などに見出しを立てて記すこと。詳細はたとえば本教育学専攻倫理綱領を参照のこと。

5. 投稿原稿は未発表のものにかぎる。ただし、口頭発表・ポスター発表やその配布資料、発表要旨集録の原稿などは、このかぎりではない。

6. 他の学会誌・紀要・論集などへの投稿原稿と内容が大幅に重複する原稿を、本論集に重ねて投稿すること(二重投稿)は認められない。

7. 投稿原稿の審査はダブルブラインド方式でおこなう。このため、投稿原稿には投稿者の氏名・所属や、謝辞、科研費課題番号、「拙著」「拙稿」など、審査時に執筆者の匿名性が損なわれるような記述を含めてはならない。なお、これらは掲載決定後に加筆することができる。

8. 本誌印刷に際して特別な費用を要する場合は、その部分の印刷費用は当該原稿執筆者の負担とする。

9. 審査後の手続き及び掲載決定後の提出物については、別途編集委員会より連絡する。

10. 投稿原稿は、特別の事情がない限りワープロソフトを用いて作成し、印刷時の様式に従ってレイアウトされた原稿とすること。なお、レイアウト原稿の作成に当たっては、レイアウト例を必ず参照のこと。

11. 英文表題等、外国語での表記の際には、投稿の前に、投稿者の責任においてネイティブ・チェックを経ること。

12. いずれの区分の投稿原稿も、原稿データを PDF ファイルで保存したものを、所定の締切までに

『教育学研究論集』編集委員会のメールアドレスに提出すること。

ededit@mukogawa-u.ac.jp

#### 【執筆要領】

1. 投稿原稿の体裁は次によるものとする。

##### (1) 和文・英文原稿共通

- ・A4 サイズ用紙を用い、縦置き・横書きとする。
- ・ページ下中央部にページ番号を印字する。
- ・原著論文、研究ノート、院生研究ノート及び教育・保育実践ノートには、原稿冒頭部に、使用言語に従って和文要旨又は英文要旨を付ける。
- ・原稿冒頭部の英文表題及び著者名は、Century 12 ポイントとする。ただし投稿時は、著者名の部分は空白にしておくこと。
- ・英文表題は、前置詞、冠詞を除く各単語の先頭文字を大文字にするヘッドライン・スタイルで記載する。
- ・イタリック、太字体（ゴシック、ボールド）等は原稿上で指定する。

##### (2) 和文原稿

- ・本文、注、引用文献、参考文献のページは 45 字×42 行の 1 段組とし、上下の余白はそれぞれ 25 mm, 20 mm, 左右の余白はそれぞれ 18 mm, 18 mm とする。
- ・本文、見出しは MS 明朝 10 ポイント、注、引用文献、参考文献は MS 明朝 9 ポイントを標準とする。
- ・和文表題及び著者名は、MS 明朝 12 ポイントとする。なお著者が複数の場合は、著者名と著者名の間は、カンマ[, ]でつなぐ。ただし投稿時は、著者名の部分は空白にしておくこと。
- ・本文は、書き出し及び改行後の書き出し部分を 1 マス空け、読点は「,」とし、句点は「。」とする。
- ・2 桁以上の数字は半角文字、アルファベットは半角を基本とするが、略号等は全角も可とする。
- ・カタカナは全角とする。
- ・表の中で使用する文字は、和文については MS 明朝 9 ポイント程度、英数字については Century9 ポイント程度とする。
- ・半角英数文字を用いる場合、「,」（コンマ）,「.」（ピリオド）,「:」（コロン）,「;」（セミコロン）等の後に半角スペースを挿入する（ただし、省略記号としての「.」に「,」が続く場合、「.」の後に半角スペースは不要）。

##### (3) 英文原稿

- ・本文、注、参考のページは、行数 48 行（又は 48 行程度）の 1 段組とし、上下の余白はそれぞれ 25 mm, 20 mm 程度、左右の余白はそれぞれ 18

mm, 18 mm とする。

- ・本文及び見出しは、Century 11 ポイントを標準とする。

- ・本文・表題共に、投稿の前に、投稿者の責任においてネイティブ・チェックを経ること。

##### 2. 引用文献

論文末尾（文末脚注の直後）に「引用文献」の欄を設け、本文において引用されたすべての文献を、著者名のアルファベット順に記載する。同一著者の文献は発行年順に並べる。発行年も同一の場合は発行年の後に小文字のアルファベットを付けて区別する。

##### 3. 参考文献

「引用文献」の後に「参考文献」の欄を設け、論文作成で参考にした文献を著者名のアルファベット順に記載する。同一著者の文献は発行年順に並べる。発行年も同一の場合は発行年の後に小文字のアルファベットを付けて区別する。

##### 4. 引用文献および参考文献の書式

APA 方式によるものとする。

- (1) 雑誌：著者名（西暦年）. 題目. 雑誌名, 巻数(必要な場合は号数), 開始頁－終了頁.
- (2) 著書：著者名(西暦年). 書名. 出版社, 出版地, 開始頁－終了頁(必要な場合).
- (3) 分担執筆：著者名(西暦年). 章題. 編者名(編). 書名. 出版社, 出版地, 開始頁－終了頁.
- (4) 訳書：原著者名（西暦年）. 原書名. 出版社, 出版地, 訳者名（西暦年）. 書名. 出版社, 開始頁－終了頁（必要な場合）.
- (5) Web サイト：著者名（西暦年）. 資料題名. サイト名. アップロード日. URL(最終閲覧日).  
※ 欧文の書名および雑誌名はイタリックとする。  
※ 和文著書の出版地は省略してもよい。

##### 【記載例】

鈴木一郎 (2000). 総合学習における教育実践学的存在論. 総合学習, 4, pp. 38-45.

James, M. (2004). Japanese Education. *Journal of Education*, 16, pp. 58-65.

鈴木一郎 (1998). 図で読むスクールカウンセリング. ミノルタ書房, pp. 33-45.

Charles, A. (1987). Singlehood. In Macklin, E. and Rubin, S. (Eds). *Families in Postmodern Society*. Oxford University Press, London, pp.34-41.

4. インターネット上の情報の引用：同一の資料が紙媒体でも存在する場合には、紙媒体のものを出典とすることを原則とする。インターネット上にしかない資料を引用する場合には、URL, 更新日付, 入手日付を明記する。インターネット上から削除される場合に備えて、必ず表示画面のコピーをと

って保管し,編集委員会からの請求があった場合,速やかに提出できるようにする。

5. 注は,本文中の該当箇所に, (1), (2)…の肩番号をつけ,論文末尾に番号順に記載する。
6. 図,表,写真図版等は,本文中の該当箇所の刷り上がりをイメージした位置に,鮮明に識別できる大きさで,以下の様式により挿入する。
  - ・図(写真図版を含む)は,図 1(Fig.1),図 2(Fig.2),…のように,表 1 (Table1),表 2 (Table2),

…のように,通し番号をつける。

- ・図の番号及び見出しは,図の下に記入し,表の番号及び見出しは,表の上に記入する。
- ・図,表,写真図版等の出典は,オリジナルの場合を除き,各図表等の下に出典を明記する。
- ・写真図版の印刷は,編集委員会がカラー印刷の必要があると認める場合を除き,白黒とする。
- ・図,表,写真図版の大きさは,刷り上がり 1 頁(縦 23.5cm×横 16.5cm)以下を原則とする。